

3-6 F Dのための情報技術講習会

本講習会は、授業で使用する電子教材の作成や学習管理ソフトウェアの使用
方法の技術習得を中心とした講習会であったが、効果的なITの活用を実現す
るには、授業シナリオの設計等、授業運営に関する知識や考え方を習得するこ
とが重要な課題であると判断し、「授業情報技術講習会」を改組して「F Dのた
めの情報技術講習会」として、教育力の向上を目指した講習会として再出発す
ることとした。本講習会の企画・運営・実施は、F D情報技術講習会運営委員
会（委員長：山本喜一、慶應義塾大学）が対応した。以下に活動を報告する。

（１）開催要項の決定と実施準備

I Tを活用しても成績の向上に結びつかない問題に取り組むため、授業のシ
ナリオ作りについて90分授業での活用事例を紹介し、実際にシナリオを作成
するワークショップを体験する。シナリオのどの部分でI Tを活用することが
効果的かさまざまな授業形態や授業運営方法について解説を行った上で、各参
加者の授業に即して授業をデザインすることとした。

2日目からは、LMS活用コースとコンテンツ作成コースの2コースに分かれ、
参加者の希望する情報技術に応じた実習を行い、最終日には作成したシナリオ
に使用するコンテンツ、学習支援コースを作り上げることとした。

平成19年度F Dのための情報技術講習会

1. 日 程：平成19年8月29日(水)～31日(金)
2. 会 場：園田学園女子大学（兵庫県尼崎市）
3. 講習概要：

先生方が授業で直面する問題点として、学習意欲を高める工夫や授業設計
のためのシナリオ作りが難しいという声が多く寄せられていることから、大
学として組織的に授業改革が促進されるよう、先生方の授業運営力の向上を
目指した講習として「ファカルティデベロップメントのための情報技術講習
会」を実施することにいたしました。

この講習会では、ITを効果的に授業に活用できるよう、授業のシナリオ作
りからプログラムをスタートします。その後、シナリオを実現するための情
報技術として、コンテンツの作成方法とLMS（学習管理システム）の活用方
法に焦点を当て、コース別に実習を行います。

4. 開催コース：コンテンツ作成コース / LMS活用コース
5. 講習内容

(1日目) コンテンツ作成コース、LMS活用コース共通

解説「授業改善のための課題」

教員が授業で直面する課題や問題について、その背景にある学生の問題、教員の問題を掘り下げ、現状認識を行うとともに、ファカルティデベロップメントの課題を把握します。またITを活用した授業改善の可能性と限界を探ります。

解説「授業改善のためのシナリオ設計の重要性」

講師：岸田 賢次氏（名古屋学院大学商学部教授）

シラバスで掲げた授業目標を達成することは、学生の基礎学力、現場感覚の不足、予習・復習の不徹底等の問題があり、通り一遍の授業では難しい。授業の展開や学習のポイントを考慮した上で、目的に応じた効果的なITを活用することにより、これらの問題を解消することは可能です。授業のシナリオを意識した授業展開を行っている事例をもとに、どうすれば効果的な授業を運営することができるか、そのポイントについて解説いただくことにしています。

解説「授業シナリオの作成方法」/ワークショップ「シナリオ作成実習」

シナリオの簡便かつ合理的な作成方法、学生のニーズ分析、授業の動機付け、授業評価など、実際のシナリオ作りの手順等について具体的な事例を挙げながら解説します。その後、参加される先生方の実際の授業に即したシナリオを作成していただき、翌日以降の技術講習につなげることにします。

(2日目以降) コース別実習

作成したシナリオに基づいて、それを実現するための技術講習と有効活用するための助言を行います。使用する技術により、以下のコースに分かれて実習を行います。その他、ITを活用した授業改善を行っている具体的な事例紹介を盛り込む予定です。

コンテンツ作成コース

(2日目)

- ・コンテンツの作成の基本 (PowerPoint, Web)
- ・効果的なプレゼンテーションの作成

PowerPoint の特徴を理解し、授業のスタイルや進め方に応じて、最適な学習効果を得られるコンテンツとはどのようなものか学びます。

- ・授業情報の保存、整理、活用

授業のアーカイブ、学生の提出物の管理、教員間の相互利用として役立てられるよう、アーカイブの必要性とその整理（整理、分類、管理）の方法について学習する。

- ・ソフトウェアの実習

PowerPointの機能概要と実習

動画の編集、画像の処理（ムービーメーカー、PictureManager等）

Web作成（フリーソフト「KompoZer」の利用）

※ PowerPoint実習とWeb作成実習はどちらか一方を選択していただきます。
申込後、当方より確認のメールをお送りいたします。

(3日目)

・総合実習

ご自身のシナリオに基づいて授業用コンテンツを作成します。

LMS活用コース

(2日目)

・学習環境にとって必要なシステムとは

・LMS 導入の意義

・LMSの機能と活用方法

(小テスト、アンケート、課題提出、シラバス管理、コミュニケーション、
学習指導管理、成績管理)

・さまざまなLMS(フリー、商用)の紹介

・オープンソースLMS Moodleの操作実習

サンプル教材を利用して、短いe-ラーニング教材を作ります。

・コースの作成

コースへの教材、小テスト、課題の登録

・フォーラムの作成

受講者の登録

・作成したe-ラーニング学習の体験

(3日目)

・授業シナリオに基づいたLMS活用の実践

ご自身のシナリオに基づいてコンテンツを作成し登録します。

(2) 開催結果と次年度の計画

参加者は50大学、5短期大学の総勢64名であった。

シナリオ作成の重要性については理解されたと思われるが、実際に作成実習を行う際に、参考となる具体例が乏しく実習が難しいという意見があった。そこで、来年度は具体的にITを活用した授業シナリオをサンプルとして何点か提示し、それを参考に実習を行うことでシナリオ作成とIT活用実習を円滑に実施できるよう検討している。